## ――イメージメディアクオリティ小特集（英文論文誌 A）論文募集――

イメージメディアクオリティ小特集編集委員会

情報通信ネットワークやディジタル映像機器の普及により，画像は我々の生活にとって欠かせないメディアとなってきました．このようなイメージメディアは撮像・通信・放送・蓄積・表示・印刷・生成等の様々な分野で扱われていますが，これまでは個々の分野において独立に画像品質「イメージメディアクオリティ」が議論され，国際標準化が進んできました．このような状況を踏まえ，この分野の研究開発の方向性とその国際的な位置付けを考慮して，英文 A 論文誌で小特集（平成 30 年 6 月号）を企画致しました．多くの方々の積極的な投稿を期待しております．

**1. 対象分野**

撮像・通信・放送・蓄積・表示・印刷・生成に関するイメージメディアクオリティ関連技術全般

・撮像デバイス（CCD，CMOS）
・画像入力装置（カメラ・ファクシミリ・スキャナ・三次元など）
・QoS 制御，モバイル端末，スケーラブル符号化
・ディジタル放送，素材伝送，立体テレビ，超高精細度テレビ
・アーカイブ，データベース，Web システム
・表示デバイス（CRT，LCD，PDP，EL，三次元など）
・ハードコピー（プリンタ），印刷技術（網点，誤差拡散）
・画像符号化（符号化画質評価，主観画質反映符号化など）
・画質主観評価法（DSIS，DSCQS，SSCQE など）
・画質客観評価法（VQEG など）
・画像再現，画像修復，CG，CV，アニメーション
・視覚の心理・生理，色彩論，色再現，高臨場感，感性情報
・セキュリティ（電子透かし，個人認証）
・ヒューマンインタフェース，福祉（高齢者，障害者用システム）

**2. 論文の執筆と取扱い**

通常の英文論文と同一とし，原則として刷り上がり 8 ページ以内とします．著者のうち少なくとも 1 名は本会会員である必要があります．詳細は，学会の英文論文誌投稿のしおり（http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html）を御参照下さい．また，査読後の再提出（条件付採録）の期間が通常の 60 日以内よりも短縮する場合がありますので，あらかじめ御了承下さい．なお，論文採録の場合は掲載料をお支払い頂きます．

**3. 論文投稿締切日　平成 29 年 10 月 2 日（月）厳守**

**4. 論文投稿方法**

投稿は，学会の投稿システム https://review.ieice.org/regist_e.aspx から御投稿下さい．なお，Web での登録の際，［Special-IM］Image media quality を選択して下さい．Web による電子投稿の際，“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”に承諾して頂きます．

**5. 小特集編集委員会**

編集委員長　中口俊哉（千葉大）
編集幹事　大橋剛介（静岡大）
編集委員　稲積泰宏（富山大），小川貴弘（北大），工藤博章（名大），清本晋作（KDDI），齊藤新一郎（ソニー），杉山賢二（成蹊大），塚田正人（NEC），土田　勝（NTT），平井経太（千葉大），堀田裕弘（富山大），前田　充（キヤノン），宮田高道（千葉工大），山田光穂（東海大）

**6. 問合せ先**

大橋剛介　静岡大学工学部電気電子工学科
TEL〔053〕478-1134，E-mail：tegooha@ipc.shizuoka.ac.jp